



2023年度の統計について

○件数について

2023年度は5月に新型コロナが5類感染症に移行したこともあり、年間を通して対面リーディングを行うことができました。

7月からは利用回数を週2コマに緩和し、延利用件数は210件で前年度の3割増となりました。また、分類別利用合計は351件で同じく前年度の3割増となっています。

なお、延利用件数のうち51件は書類など同室での対面が必要な依頼を職員が対応したものです。

※分類別利用合計が延利用件数よりも多いのは1コマの対面で複数の内容を依頼されるケースがあるためです。

○利用者数

実利用者は20人で、前年度－2名でほぼ横ばいとなりました。年間を通して対面を実施できたものの、同室での対面ができなかったことや、外出自体を控えているなど新型コロナの影響がまだ続いていたと考えられます。

この4月からは同室での対面を再開し、また感染状況も落ち着いていることなど利用者数の増加が期待されます。

○利用状況

大分類別では「文学・エッセイ」と「新聞」が引き続き大きな割合を占めました。また、「伝記・歴史・地理」が前年度の約2倍の利用数となっています。

まだ実施件数が少ないため、僅かな回数で割合が大きく変化する状況が続いています。分類別の割合は参考程度にお考え下さい。

※記録用紙裏面の「分類」については、どこに分類されるのか分かりにくい図書、資料も多いかと思えます。分類番号の記入で迷われたときは職員にご相談ください。

○ボランティア数

68名（うち臨時1名、登録ボランティア約100名）のボランティアの方にご協力頂きました。本当にありがとうございました。

今年度も引き続きコロナの感染状況を注視しつつ、対面の実施方法や利用回数などを検討していきたいと考えています。

引き続きご協力をお願いいたします。

今月号の主な内容

2023年度の統計について			1
私のふるさと	本は知らない世界への出発点	仲川 葵	4
誌上勉強会	近視と緑内障	木村 謹治	5
寄り道・回り道	陳麻婆豆腐 ルクアイーレ大阪店	木村 謹治	9
情報発信	ユニバーサルデザインの玩具	福田 直樹	10
情報発信	漢字あれこれ（その20）	澤井 稔	11
お知らせ			12

2023年度 対面リーディング利用状況報告

		分 類	2023	2022
新聞・雑誌	1	新聞	72	47
	2	総合雑誌	6	26
	12	鉄道雑誌・時刻表等	0	1
	13	スポーツ・スポーツ誌（競馬・相撲雑誌等）	8	3
人文・地歴 哲学・社会	4	哲学・心理学・宗教	2	6
	5	伝記・歴史・地理（旅行ガイド等を含む）	36	19
	6	社会科学（社会福祉・政治・経済・株式）	8	19
文学・芸術	14	芸術一般・芸能・音楽（楽譜等）	12	13
	16	文学・エッセイ	100	51
	17	短歌・俳句・川柳・詩	1	0
科学・医学 技術	7	東洋医学	0	0
	8	西洋医学	1	3
	9	数学・科学・物理・生物ほか	8	0
	11	工学（コンピュータ・無線等）	0	1
資格・検定 語学	3	資格試験問題	0	3
	15	語学（英会話・TOEIC等）・外国語	0	0
生活一般	10	家事・育児・料理	12	3
	18	各種取扱説明書（携帯電話等）	1	0
	19	チラシ・手紙・DM・パンフレット等	47	43
その他	20	代筆	36	31
	21	コンピュータ補助（データ修正等）	1	0
	22	その他	0	1
合 計			351	270
			延利用件数	210
				157

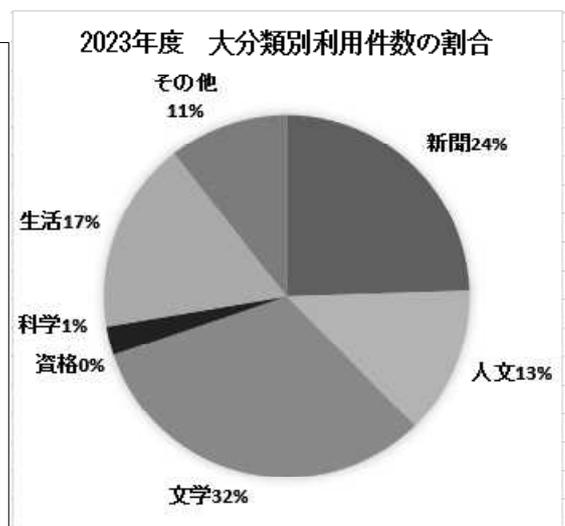
年度別利用ベスト5

※2023年度は7月最終週から対面利用を週2枠に拡大しました

2023年度	2022年度	2021年度
① 文学・エッセイ ② 新聞 ③ チラシ・手紙など ④ 伝記・歴史・地理 ⑤ 代筆	① 文学・エッセイ ② 新聞 ③ チラシ・手紙など ④ 代筆 ⑤ 総合雑誌	① チラシ・手紙など ② 代筆・その他 ③ 新聞 ④ 文学・エッセイ ⑤ 総合雑誌

2020年度	2019年度	2018年度
① チラシ・手紙など ② 代筆・その他 ③ 新聞 ④ 文学・エッセイ ⑤ 伝記・歴史・地理	① 文学・エッセイ ② 新聞 ③ 語学・外国語 ④ 社会科学 ⑤ 伝記・歴史・地理	① 文学・エッセイ ② 新聞 ③ 伝記・歴史・地理 ④ 語学・外国語 ⑤ 社会科学

2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	分類
19	14	185	198	192	169	177	246	1
11	5	42	75	25	23	32	46	2
0	0	3	1	1	0	2	2	12
4	0	5	11	11	15	36	26	13
1	2	47	19	7	8	41	30	4
8	10	60	111	47	45	45	51	5
1	6	91	79	69	83	69	41	6
5	0	15	31	19	20	34	49	14
17	13	291	310	320	260	295	379	16
0	0	1	0	1	3	2	0	17
0	0	1	47	38	2	3	1	7
0	0	1	21	7	3	9	6	8
0	0	8	3	0	1	1	3	9
0	0	2	5	0	1	3	3	11
1	0	2	27	11	3	94	244	3
0	8	103	87	93	133	124	123	15
0	0	3	3	4	0	4	5	10
0	0	4	4	4	6	5	16	18
65	20	39	54	45	49	49	69	19
28	17	45	60	64	63	65	57	20
4	3	45	67	52	65	55	11	21
2	3	14	8	4	4	1	2	22
166	101	1007	1221	1014	956	1146	1410	
95	66	612	788	691	626	776	999	



本は知らない世界への出発点

なかがわ あおい
エンジョイ・グッズサロン 仲川 葵

このコーナーでは故郷のことを紹介されている方が多いので流れに従って私もそうしようと思ったのですが、薄情だと思われるかもしれませんが私は地元には思い入れがないため、私の心の故郷、図書館について語らせていただきたいと思います。

元々、私は本が特段好きだったわけではありませんでした。ドッジボールやおにごっこが好きな活発な小学生時代を送っていたある日『ホームレス中学生』という本に出会いました。そこには私の今まで送ってきた人生からは想定できないような作者の半生が語られており、衝撃を受けたのをよく覚えています。「俺はうんこの神様や！」と公園で叫ぶ作者の一節が未だに心に残っております。この一節が気になった方はぜひご覧になってみてください。



話がそれましたが、その本に衝撃を受けて以降、「本には私の知らない世界がある」と子供ながらに思った私はよりたくさんの本に出会うために大学生になるまで図書館に通い詰めるようになりました。現実にはない魔法も夢も本の中にはありました。就活を始めてから夢も希望も現実にはなかったこと、甘かったことに気付きました。

そんな夢も希望もないまま、非正規の図書館司書として勤めていたある日「私このままで良いのかなあ」と漠然と考えていた頃に

『視能訓練士になるには』という本に出会いました。ずっと大好きな本に関わりたくて図書館司書になりました。ですが、本当に図書館司書や本屋だけが本に関わることではないと気付きました。私は本やアニメが大好きです。それらは全て見ること・聴くこと・触ることが主体になっていると気づき、私は見ることの支援がしたいと考え視能訓練士になりました。

大好きだった図書館を離れ、現在はグッズサロンで拡大読書器などをご紹介させていただきながら違った形で読書支援に関わり利用者の方から聞く色々な読書の楽しみ方について日々驚いております。

図書館には知らない世界がたくさんあります。いつもと違う検索ワードを打ち込むだけで全く知らない、でも貴方の運命を大きく変えるような一冊に出会えるかもしれません。面白かった、面白くなかったも読んでみないとわかりませんが、たまには興味のないジャンルに手を出してみると新しい発見があるかもしれません。

いつでも心がわくわくする場所、図書館が私の心のふるさとです。皆様も図書館を通して知らない世界と一緒に旅立ってみませんか。



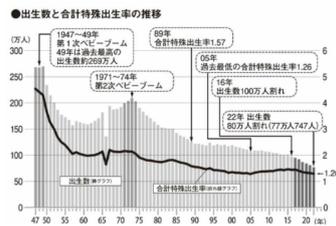
対面リーディングの実際 62

— 近視と緑内障 —

テレビや新聞のニュースでは日本の人口減が話題になっています。2024年1月1日時点での概算値によると、日本の総人口は1億2,409万人となり、前年同月比で66万人の減少を見せました。これは、人口減少率にして0.53%になります。

2004年のピーク時の1億2,784万人からは375万人の減少になります。見方によっては減少中はそんなに大きくないのではと感じる方もあるのではないのでしょうか。

それには訳があります。平均寿命が伸びた事です。そのため少子化が薄められ見かけ上穏やかに減少となりました。



日本の自殺者は減少したのですが、子どもの自殺者は増えています。

体力の低下、いじめ、ヤングケアラー…と児童をとりまく環境は厳しいものがあります。

子どもの近視からも目が離せません。メガネやコンタクトレンズを付ければ、見えるでしょうと軽く考えるのは禁物です。

近年、小中学生で視力1.0未満の割合が年々増加しており、低年齢化しています。

裸眼視力1.0未満のこどもの割合



デジタル機器に触れる時間の増加が要因の一つとされています。

一方、近くを見る時間が長くて、外遊びをしっかりとすれば近視の程度が軽くなるのが海外の調査研究で分かっています。海外では視力低下を防ぐ施策として屋外活動

を取り入れる動きが広がっており、専門家は「日本でも教育現場の小さな取り組みから広げていくことが必要だ」と訴えています。

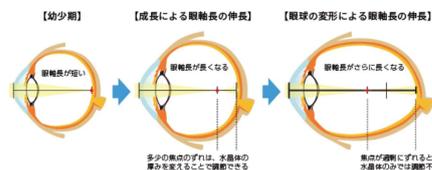
2019年に発表された慶應大学の研究で東京都内約1,400人の小中学生を調査したところ、小学生の約76.5%、中学生の94.9%が近視であることが判明しました。

日本に限らず、中国、香港、台湾、韓国、シンガポールなど東アジアにおける近視人口の増加は著しく、高校卒業までに80~90%は近視、10~20%は強度近視に至ることが報告されています。

近視の発症には「遺伝的要因」と「環境要因」の両方が関与すると考えられていますが、今は環境要因が圧倒的に大きいと考えられます。

特に近年は、パソコン・タブレット・スマートフォンなどのデジタルデバイスの長時間使用と外遊びの時間の減少が大きく影響を及ぼしています。

生まれたばかりの赤ちゃんの目はまだ十分にできていません。赤ちゃんの目は小さくて眼軸長（目の奥行き）が短く、遠視の状態です。乳幼児期は光を受ける網膜や視神経の機能も低く、1歳児で0.1~0.2程度とされています。成長に伴って眼軸長が伸びて正視になっていくと同時に、6才ぐらいまでの間に網膜や視神経も発達していきますが、眼軸長が伸びすぎると近視になります。



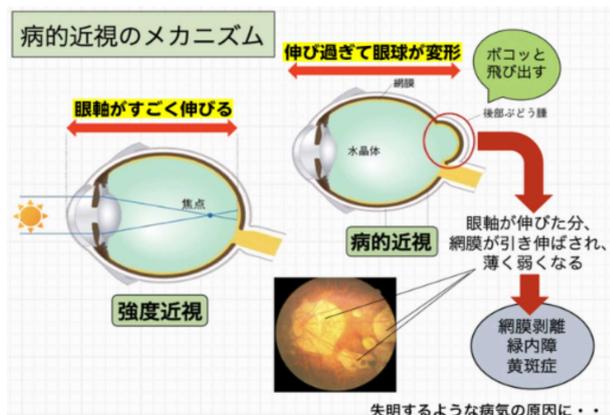
個人差はありますが、眼軸長が伸びて近視になる年齢が早いほど、近視は強くなること

知られています。

背が伸びて体が大きくなると同時に眼軸長も伸びますが、近年は環境要因で近視がより強くなる傾向が顕著になっています。

眼軸長が伸びて近視になると元には戻らず、成長とともにさらに眼軸長が伸びます。眼軸長が伸びすぎると病的近視になる恐れがあり、病的近視になると目の病気や失明のリスクが高くなります。

強度近視は、屈折度数（眼鏡やコンタクトレンズの度数）が「マイナス6D」を超える状態のことです。これ自体で失明するような事はまずありません。対して病的近視とは、眼球が後ろに極端に伸びて変形する状態です。網膜や視神経が障害され失明に至る危険性があります。現在日本の視覚障害の原因としては第5位で、その割合は増加傾向にあります。近視が増えるという事は、近視によって重篤な視覚障害になる人も増えるという事になります。たかが近視と考えず、進行予防、そして悪い病気の合併がないかの健診は子ども達だからこそ大切です。



眼軸長が極端に伸びて病的近視になると、網膜・脈絡膜・強膜が引き延ばされて薄くなり、目の病気や失明のリスクが高くなります。

悪化すると後部ぶどう腫という眼球の変形を生じてきます。薄くなった網膜や脈絡膜は強度や機能が低下し、網膜剥離、緑内障、黄斑変性といった失明につながる病気の原因になります。

強度近視の眼の90%は、40歳を過ぎてから眼球の後ろの部分に「後部ぶどう腫」と呼ばれるくぼみが形成されていきます。つまり、大人目の目で眼球の後ろが引き延ばされていきます。

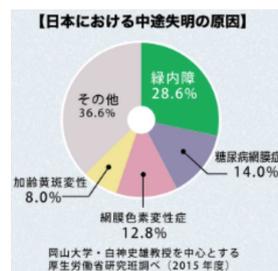
このため、神経線維も引き延ばされてダメージを受けて減少し視野が欠けていくことがあります。この状態を「近視性視神経症」といいます。

40歳以前の後部ぶどう腫形成前の年齢で、眼軸伸長に伴う視神経乳頭の変形が関与するのが緑内障です。40歳以降に、後部ぶどう腫形成に伴う視神経乳頭、およびその周辺組織の変化が関与するのが「近視性視神経症」と考えても良いでしょう。

これらの病気中でも緑内障は日本人の中途失明で最も多い原因となっています。

緑内障は、目の中で生じる房水の流れが滞ることで眼圧が高くなり、これに押されて視神経が壊れてしまう病気です。

日本緑内障学会の調査によると、40歳以上の日本人の5%、20人に1人が緑内障と推定されているそうです。年齢とともにその割合は増え、70歳以上では10人超に1人（10%）に緑内障があると考えられているのです。



緑内障の特徴は

- ・日本での成人の失明原因の第1位
 - ・自覚症状が少ない
 - ・眼圧について見ると、患者の7～8割が正常値である
 - ・眼圧以外に視神経が傷む
 - ・全身的な治療が必要となる
- とされています。

緑内障の自覚症状としては、見えない場所（暗点）が出現する、あるいは見える範囲（視野）が狭くなる症状がもっとも一般的です。しかし、日常生活では両眼で見ている、片目が視野欠損でも脳で補正されます。また、多くの場合、病気の進行は緩やかなので、初期は視野障害があっても



まったく自覚しないことがほとんどです。

視野障害が進行した場合は、視力が低下したり、場合によっては失明することさえあります。しかも緑内障が恐ろしいことの理由のひとつは、**緑内障の進行は常に一方通行**であり、喪失した視野や視力を治療によって取り戻すことができないことです。

緑内障の治療は、あくまでも緑内障の進行をゆっくりにするためのものであり、見え方を改善することはできません。また、急激に眼圧が著しく上昇した場合（急性緑内障発作）は、眼痛・充血・目のかすみのほか、頭痛や吐き気を自覚することもあります。この場合は、急速に視野が狭くなっていくため、すぐに治療を受けることが必要です。

逆に、ゆっくりと眼圧が上昇していく場合や、正常眼圧でも緑内障になるタイプでは、自覚症状がないために、気がついたら視野が狭くなっていたということになりがちです。進行すると、読書がしにくい、文字が書きづらい、自動車の運転がしにくいなどの症状が現れます。こうした症状に気づいた時には、視野がかなり欠けて視力も低下してしまっているため、もっと早い段階で見つけることが大切になるのです。

強度近視の人は緑内障のリスクが3.3倍高くなると言われています。そのためには子どもの近視対策が重要になってきます。

家族や知り合いのお子さんに強度の近視の方がおられたら、次のことに気をつけるようにアドバイスしてあげましょう。

可能なら1日2時間以上、最低でも1日40分以上の屋外活動を！

失明につながる様々な病気の危険性を上げる「近視」。発症を防ぎ予防する研究が進んでいます。そのカギは、「屋外活動」。屋外にいる時間が長い子どもは、近視を発症する割合が低いことがわかっています。理由として考えられているのが、日光です。

週に11時間以上、1日2時間以上、明るさ1000lx（ルクス）以上の光を浴びることで近視の発症が抑えられることがわかっています。

明るさ1000lxは、屋外でないと実現が難

しい明るさです。一般的に、部屋の中では300lx程度、窓際でも空を見上げていない限り800lx程度です。一方、屋外では木陰でも数千lx、日なたでは数万lx以上です。専門家によると、直射日光の下でなくとも日陰で十分な効果が期待できます。長時間、屋外で快適に過ごせる場所を確保することが重要と話しています。



太陽光に含まれるバイオレットライトの波長が近視進行を抑制するとされるEGR1遺伝子の活性を高めるので、EGR1の活性化に屋外活動が推奨されています。

台湾は「外で体育授業150分」義務化

近視対策で効果を上げているのが台湾です。20歳以下の8割以上が近視で、政府は対策に力を入れてきました。注目されているのは、小学生の屋外活動の時間を増やす取り組みです。台湾では法改正を行い、週に150分、屋外で体育の授業を行うことを義務化しました。理科など教室内で行ってきた他の授業も、植物の観察を取り入れるなど屋外で行うことを推奨し、1日2時間以上、屋外にいることを目標に掲げたのです。

授業だけでなく、休み時間中も屋外で長時間過ごせるスペースを用意している学校もあります。子どもたちは、日陰でボードゲームや読書を楽しんでいました。

この取り組みを始めた2011年には、視力0.8未満の小学生の割合は50.0%でしたが、2020年には、44.3%に低下。2001年から毎年増加し続けていた視力不良の生徒の数が大幅に減少したと、世界中の関係者に衝撃を与えました。

テレビとゲームの時間は近視リスクを何倍にも助長します！

最近の子どもは、スマホゲームやSNSなどで、室内で過ごすことが多くなっています。

これでは屋外で遊ぶ時間も少なくなってしまう、近視予防にはまったく逆の行為となってしまう。

さらに、スマートフォンや携帯型ゲーム機などは手元で操作し、文字や画面も小さく、

注意が必要です。これらの機器を使用する場合は、ときどき遠くを見たり、意識的にパチパチまばたきしたり、目を上下左右にぐるぐる動かしたりしてみてください。休憩時には、目をして休めたり、蒸しタオル等で温めて血行を良くするのも効果的です。遠くをぼんやりと眺めるのも効果があります。

近視の進行をできるだけ抑えるため、屋外活動を増やし、近くばかりを見ない生活に変えるといった環境要因の整備が非常に大切です。

パソコンやスマホから発せられるブルーライトをカットするのは目を休める効果があるとされていますが、一方でうつ状態の防止や作業効率向上のためにはカットしない方がよいとする説もあります。ブルーライトカット眼鏡やフィルターがバイオレットライトも含めた波長の光線をカットしまうものが多いため、近視進行抑制の観点からは議論のあるところです。

30分以上したら5分以上の休憩を

近見作業時の正しい姿勢は視距離を保つために必要です。寝転んで読書やテレビを見たりするのは近視が進行しやすく、左右差もできやすくなると言われています。

30cm未満に近づけて見ると、近視が2.5倍増えます。

読書には照明は300ルクス以上の明るさが必要です。部屋の照明以外にLED電球で700~1000ルーメン、白熱電球で40~60W、蛍光灯で15~20Wの追加照明が必要です。

また、30分以上の近見作業を連続しておこなってしまった場合は、5分以上の休憩をとることが近視化抑制に有効とされています。

早寝早起きと十分な睡眠時間は近視の程度にも関連する

夜更かしすると屋外や日中明るいところでの生活時間が短くなり、テレビ視聴や暗いところや狭い空間での生活時間が長くなってしまいます。近視化を助長しやすい環境になり

がちで、睡眠不足や不規則な生活はホルモンバランスも崩れがちです。屋外へでて太陽光を浴びて運動することは睡眠のリズムを整える効果もあり、特に成長期のお子さんの場合は、早寝早起きして、きっちり朝食をとるようにさせるだけでも効果的とされています。

外界からの情報の80%以上は視覚から入ってくるという話を聞いたことがある人は多いかもしれません。

いわゆる、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の5感でいうと、もっとも視覚からの情報が多いのは確かです。



では、この80%の数字はどこからきた数字で、何を根拠にしているのでしょうか？

この「外界からの情報の80%」について、過去の著書や文献を検索してみると、教育機器関係の著書にて83%の数字が、また情報心理学の著書にて90%の数字がでてきますが、どちらもその根拠をはっきり示していません。しかしさらに調べてみると、40年前の神経生理学の教科書に、その根拠があるようです。この報告では、感覚受容器の数をはじめ、求心性線維の数、神経細胞の平均放電頻度などから、脳への総入力情報量を求め、この積算を根拠に情報量を算出しているとのことだそうです。

日進月歩の医学ですが、意外なことに、このような一見確かそうな情報に限って、40年前の文献を根拠にしているのは意外です。

現在のより進歩した測定機器や医学の知識をもってすれば、もっと正確で、根拠のある数字が導き出せそうなものです。しかし、この80%という数字で特に不利益を被る人もいないため、このくらいの数字であれば、経験上、皆が納得する相場の数字…ということのようです。

そう考えると、夜が怖いのは、暗いことで視覚から得る情報が足りないからなのかもしれないですね。

いずれにしても、視覚からの情報が圧倒的に多いことは確かであり、目が大切な器官であることには変わりありません。

子どもの近視、気をつけてあげないと。

ちんまーぼーどうふ 陳麻婆豆腐 ルクアイーレ大阪店

【所在地】 大阪市北区梅田3丁目1-3 ルクアイーレ10階
【電話番号】 06-6225-8547
【行き方】 JR大阪駅 直結 徒歩3分 ルクアイーレ10階
【営業時間】 11:00~23:00
【定休日】 ルクアイーレに準ずる
【URL】 https://chenmapo.jp/restaurant/osaka/osaka_lucua/

四川料理を食べるのは久しぶりです。というのも、四川省といえば、激辛料理のイメージが強いと思います。激辛度は本当に高く、日本の激辛とはレベルが違い、日本の激辛は四川省の小辛くらいの感覚だそうです。

なんと中国にある本店は麻婆豆腐発祥を謳う店です。

陳麻婆豆腐のホームページには、「日本で唯一、中国政府から認められた本格四川料理の老舗です。痺(しび)れる花椒(ホアジャオ)は四川省漢原(かんげん)産、唐辛子の辣(ら)と四川山椒の麻(マー)が効いた、本家の味を提供します。強い辛味の中に、うま味、コク、豆腐の風味も十分に感じられる、絶品の一品。濃厚かつ絶妙な辛味と旨味の味わいを是非ご堪能ください。」と書かれています。

実は四川省の本店に行ったことがあります。口から火が出るのを覚悟して来店したのですが、思ったほど辛くなかったのです。客が日本人と分かって、辛さを調節したのではと教えてもらいました。

余談ですが、四川省成都のジャイアントパンダ保護研究センターに行けばパンダがゴロゴロいますよ。パンダ好きの人には欠かせない場所ですね。

そんなわけで、久しぶりに四川料理を味わいに行きました。



ランチセットは6種類あります。1番のお勧めは店名と同じ「陳麻婆豆腐」ですが、「本場四川省の回鍋肉(ホイコーロー)」(1,230円)を選びました。

玉子スープ、ザーサイ、杏仁豆腐とごはん

(お代わり自由)が付きます。

四川では昔、元旦と15日に神様と祖先を祀る習慣があり、金持ちの家では、鶏や牛を潰しての盛大な儀式を行っていたそうです。平民たちは豚肉を祀っていました。その時にお供えした豚肉を茹でて食べたのが、回鍋肉の始まりだと言われています。



陳麻婆豆腐の回鍋肉は、本場四川と同様の「皮つき豚バラ肉」を使用していて、また、野菜にはネギではなく葉ニンニクを使用しています。そして豆板醤(トウバンジャン)、豆鼓(トウチ)をミックスした味が特徴を醸し出しています。

皮付きと聞いて一瞬、毛が付いているのかと頭をよぎりましたが、そんなことはありません。とても柔らかく美味しい肉でした。

皮つき豚バラ肉は、あばら骨周囲にある部位で口当たりがよく、小麦仕上げのあっさりした脂身を感じる事が出来、それにプラスして皮のプリプリの食感がたまらない部位だそうです。皮と肉と脂身が交互に五層になっているので五枚肉とも言われているらしいです。

豚バラ肉が香ばしくてごはん



ととてもよく合いました。辛いのが苦手な僕でも、そんなに辛くは感じませんでした。食べ進むにつれ体の中から熱く感じられてきました。

店内はシックにまとめられ、山水画などが飾られ落ち着いた雰囲気でした。

ユニバーサルデザインの玩具

サービス部 ふくだ なおき
福田 直樹

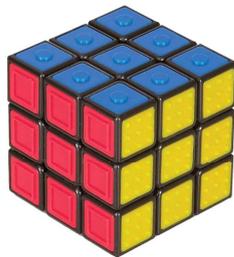
5階のグッズサロンでは様々な便利グッズを展示・販売しています。その中でも遊べるもの、楽しめるものは何かありませんか、というお問い合わせを受けることがよくあります。

今回は障がいの有無にかかわらず楽しめるよう工夫された製品をご紹介します。

①ルービックキューブ ユニバーサルデザイン

6面の色ごとに異なる形状の凹凸があり、手触りだけでも揃える事が可能になっています。凹凸はシールではなくプレート埋め込み式なので耐久性もあります。

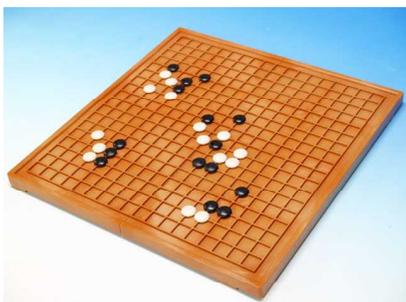
日本おもちゃ大賞2021年の共遊玩具部門大賞受賞。



②立体碁碁アイゴ

盤面の線が立体に浮き上がっており、碁石の裏側には溝が彫られているため、しっかりと碁石を盤面に固定できるようになっています。また、黒石のみ表面に突起があり、白黒の判別が触ってできるようになっています。

表面は19路盤（線が19×19）、裏側は9路盤（9×9）として使うことができます。



③お香のカードゲーム くんくんくん

創業300年以上のお香の専門店「松栄堂」がつくった、嗅覚をたよりに組み合わせたり、表現して遊ぶカードゲームです。

家族や友達とわいわい楽しんだり、一人で嗅覚トレーニングをしたり、子どもからご高齢の方まで気軽に楽しめます。

また、カード型のお香として名刺入れや財布に入れて香りを楽しむこともできます。



④一体オセロ

オセロ盤の1つひとつのマスが回転するようになっています。内蔵された回転式オセロ石の黒色の面には溝、白色の面に凹みがあるため、触って石の判別ができます。

盤面と石が一体となっているため位置がずれることもありません。



②から④は5階グッズサロンでも取り扱っていますので、ご来館の際にぜひ実物をご覧ください。

毎年、東京おもちゃショーという大きなイベントがあり、そこでは共遊玩具ほか様々な部門で優れたおもちゃを選ぶ「日本おもちゃ大賞」が発表されます。

今年はどのような工夫が凝らされた製品が登場するのか、今から楽しみです。

漢字あれこれ（その20）

対面リーディングボランティア

さわ い みのる
澤井 稔

植物の読み方

最近、植物の名は仮名書きにする事が多くなったので、漢字で書かれると読み方が怪しくなる事が多いようです。雑誌から拾った名前をランダムにあげてみます。

- ① 向日葵=(ひまわり)
- ② 桔梗=(ききょう)
- ③ 杜若=(かきつばた)
- ④ 罌粟=(けし)
- ⑤ 藤袴=(ふじばかま)
- ⑥ 菖蒲=(しょうぶ、あやめ)
- ⑦ 撫子=(なでしこ)
- ⑧ 女郎花=(おみなえし)
- ⑨ 蘭草=(いぐさ)
- ⑩ 萩=(はぎ)
- ⑪ 荻=(おぎ)
- ⑫ 葛=(くず)
- ⑬ 薄=(すすき)
- ⑭ 芹=(せり)
- ⑮ 薺=(なずな)
- ⑯ 御形=(ごぎょう)
- ⑰ 繁縷=(はこべ)
- ⑱ 仏座=(ほとけのざ)
- ⑲ 菘=(すすな)
- ⑳ 蘿蔔=(すすしろ)
- ㉑ 薊=(あざみ)
- ㉒ 葦=(あし)
- ㉓ 菫=(すみれ)
- ㉔ 紫苑=(しおん)
- ㉕ 虎杖=(いたどり)
- ㉖ 羊歯=(した)
- ㉗ 蒲公英=(たんぽぽ)
- ㉘ 金盞花=(きんせんか)
- ㉙ 万年青=(おもと)
- ㉚ 吾亦紅=(われもこう)

木の読み方

同じく、木の読み方をあげてみます。

- ① 紫陽花=(あじさい)
- ② 柘植=(つげ)
- ③ 沈丁花=(じんちょうげ)
- ④ 金木犀=(きんもくせい)
- ⑤ 胡桃=(くるみ)
- ⑥ 石榴=(ざくろ)
- ⑦ 公孫樹=(いちょう)
- ⑧ 無花果=(いちじく)
- ⑨ 石楠花=(しゃくなげ)
- ⑩ 沙羅双樹=(さらそうじゆ)
- ⑪ 櫟=(けやき)
- ⑫ 欒=(くぬぎ)
- ⑬ 檜=(なら)
- ⑭ 樅=(もみ)
- ⑮ 枸杞=(くこ)
- ⑯ 木瓜=(ぼけ)
- ⑰ 辛夷=(こぶし)
- ⑱ 梔子(くちなし)
- ⑲ 棕櫚=(しゅろ)
- ⑳ 馬酔木=(あせび、あしび)
- ㉑ 木天蓼=(またたび)
- ㉒ 凌霄花=(のうぜんかずら)



野菜の読み方

その他生活に密着した野菜の名前の読み方もあげてみましょう。

- ① 茗荷=(みょうが)
- ② 糸瓜=(へちま)
- ③ 牛蒡=(ごぼう)
- ④ 山葵=(わさび)
- ⑤ 蒟の薑=(ふきのとう)
- ⑥ 豌豆=(えんどう)
- ⑦ 自然薯=(じねんじょ)
- ⑧ 馬鈴薯=(ばれいしょ)
- ⑨ 大蒜=(にんにく)
- ⑩ 若布=(わかめ)
- ⑪ 芹=(せり)
- ⑫ 蕨=(わらび)

- ⑬ 辣韭=(らっきょう)
- ⑭ 浅葱=(あさつき)
- ⑮ 舞茸=(まいたけ)
- ⑯ 慈姑=(くわい)
- ⑰ 青梗菜=(チンゲンサイ)
- ⑱ 香菜=(シャンツァイ)

難しい漢字ばかりで、もちろん書けなくても少しも恥ずかしくは無いと思います。でも漢字で書かれていると、確かに表現が引き立ち、イメージの喚起力が際立ちますね。

漢字はやはり、想像力の入口です。雑誌等には頻繁に使われていますので、一つでも多く分かれば、スムーズな読みに繋がりますね。



おしらせ



・オープナーについて

毎月1回、第2土曜日（月によって第3土曜日）に開催している「オープナー」は、どなたでも参加していただける館内見学会です。6月は15日（土）の予定です。時間は13時30分から約2時間で、普段はご覧頂けない製作部門などへもご案内します。参加費用は無料です。

参加ご希望の方は対面担当、または総務係（06-6441-0015）までご予約をお願いいたします。既に対面ボランティアの活動をされていて館内見学をしたことがないという方はもちろん、お知り合いで情報文化センターの活動にご興味のある方がおられましたら是非、ご案内ください。

十数年振りに引越しをしました。狭い部屋にどう収まっていたのか不思議なほどの物の多さに呆然。今後はなるべく物を増やさない生活をせねばと反省しきりです。(F)

日本ライトハウス 情報文化センター
550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2
06-6136-7704（対面専用）
06-6441-0039（サービス部）